|  |  |
| --- | --- |
| **28**  （月） | Future Bartizan |
|  | **ロマ16章25～27節**　ののにしたがい、たちのをしてやらかにされ、すべてのにのをもたらすためにらされたのによって、あなたがたをくすることができる、(26) |
|  | ののRemnant７との、ローマ16のは、なをっていました。Remnantがまことのりをめれば、をるのやぐらがられます。Remnantがのやぐらをてるためにすることがあります。  １つ、にわたってされていたことをつけましょう。をれるようにさせたエデンの、にえられたネフィリム、にしてしようとするバベルのは、がすることはできません。これにつキリストのをるとき、わざわいがれめます。２つ、かられさせ、らなくさせるわざわいをめるのがキリストです。このは、のことではなく、、、れています。、のキリストをつけて、わいましょう。３つ、ににをささげるやぐらをてましょう。だれでもることができ、でされるやぐら、がでサミットになるをりましょう。  Remnantはのにあるのやぐらがれて、のやぐらがつようにりましょう。そのは、かでいのをつことです。そのとき、みことばでえをけるようになって、24、25、のえをけるでしょう。 |
|  | 、のやぐらがてられますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2023.11.02.2023ヨーロッパ伝道集会2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **29**（火） | がえられたのい |
|  | **使18章1～4節**　そこで、ポントスまれでアキラというのユダヤと、のプリスキラにった。クラウディウスが、すべてのユダヤをローマからさせるようにじたので、イタリアからていたのである。パウロはのところにき、(2) |
|  | くのが、きるのがしく、つらいといます。Remnantはをって、がにをえてくださったことをればいのです。をもなにしましょう。すると、がえられたにいます。どんなをてばいのでしょうか。  １つ、のです。のをれば、ずできるがかれます。Remnantは、イエスがオリーブでられたののやぐらと、しるべだけをわえばいのです。２つ、がにえられたです。Remnantが、いつもつけることがあります。それは「の」です。はRemnantがまれるに、Remnantのをえられました。これを、がいるでつけてわいましょう。３つ、のです。Remnantは、どこにんでいるかをよくましょう。Remnantがんでいるのなとれをてみましょう。どんながきなをえているのか、どんなをっているのかをよくてください。  Remnantはをするはありません。のつのをわえば、がのをけてくださるからです。 |
|  | 、と、のをにてわいますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.3.17.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **30**（水） | 237-5000をかす |
|  | **使18章24～28節**　によってイエスがキリストであることをし、のでくユダヤたちをしたからである。(28) |
|  | 237かと5をかすもはやいは\*をかすことです。そのをんで、、、になるためにすることがあります。  １つ、７つのやぐらです。のとのがみますようにとれば、と、のがわります。そして、\*のと、のをつにつをえてくださいます。をあらかじめせてくださり、つのをらせてくださいます。２つ、７つのです。のがいてくださるをくようにりましょう。どんなでもする、にれない、をめてれば、くごとに、がれをえられるのをるようになります。そして、のえをけて、くごとにのキャンプがこります。３つ、７つのしるべです。すべてされたカルバリのの、のがむオリーブの、マルコののののきが、たちのしるべです。のゆえにらされたがまってがまったアンティオキア、めてのがまったアジア、のターニングポイントであるマケドニア、ティラノのきが、たちのしるべです。このしるべをて、ついてけばいのです。  Remnantはとをかすに７つのやぐらと７つの、７つのしるべが、、となるようにりましょう。  \*:なにかができるをっている、または、がとてもれたのことをいます。  \*の:があるのとはべることができない、のなです。 |
|  | 、がえてくださった７つのやぐら、７つの、７つのしるべが、、になりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.3.17.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **31**（木） | わざわいをめるレムナントのやぐら |
|  | **出3章18節**　らはあなたのにきう。あなたはイスラエルのたちとにエジプトののところにき、にこうえ。『ヘブルの、がたちにおいくださいました。、どうかたちにへののりをかせ、たちの、にいけにえをげさせてください。』(18) |
|  | はRemnantをわざわいをめるとしてばれました。どのようにすれば、わざわいをめることができるのでしょうか。モーセをして、わざわいをめるRemnantのをしてみましょう。  １つ、モーセはレビのにまれました。レビは、をささげるです。のヨケベデは、モーセがいときに、とりをさせました。Remnantは、いときからにして、わざわいをめるをしましょう。２つ、はモーセを80のときに、いられました。これがモーセのでした。はモーセに「のいけにえをげにきなさい」というをえられました。そのをわかったモーセは、れずにエジプトのをきました。Remnantは、をって、のになるまでてばいのです。３つ、のいけにえをげにエジプトをてくとき、わざわいをめることがこりました。10のはのにはわざわいでしたが、をっているにはでした。  Remnantは、のようにえることにだまされずに、そこでRemnantのをつけましょう。Remnantがくはわざわいをめるです。れずに、と、のをかすをしましょう! |
|  | 、Remnantがくにわざわいをめるのきをさせてください。イエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.03.23.レムナント伝道学 |

|  |  |
| --- | --- |
| **11/1**  （金） | 4 |
|  | **出2章1～10節**　さて、レビののあるがレビのをにえた。(1) |
|  | Remnantは、いつも５をわうやぐらをちましょう。やぐらをてるには、りがです。ヨセフは、いときに24りのでやぐらをてました。そこでのをるようになったのです。  １つ、ヨセフがんだ、イスラエルにがました。このとき、ふだんからやぐらをっていたヨケベデはえをしました。モーセにやぐらのをすることにしたのです。２つ、イスラエルのは、のではないエジプトでらしていました。がアブラハムにえられたのをしたからです。は、237かと５がいるにヨセフをられました。このことがかったヨケベデは、このをモーセにしました。３つ、モーセは40、エジプトでののをしました。そして、40はミディアンので５をえました。80になったとき、のきによってをたしました。４つ、エジプトのがこりました。がエジプトに10のわざわいをされました。それがイスラエルにはになりました。のをった、イスラエルのはすべてされました。  Remnantはがえてくださるなにするをちましょう! |
|  | 、、がえてくださるをわいますように。イエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.03.23.核心訓練 |

|  |  |
| --- | --- |
| **2**  （土） | するとそのまり |
|  | **使19章1～7節**　パウロがらのにをくと、がらにみ、らはをったり、したりした。(6) |
|  | できるはがえてくださいます。なことは、まりです。Remnantは、すべてのサタンとわざわい、のにちたれたキリストと、キリストがえてくださるでめましょう。をりでわって、することがあります。  １つ、をることがまりです。ののRemnant７は、だれもけてくれないにいました。しかし、りのをってにき、がともにおられることをわしました。２つ、のみことばにするをつ、がわりめます。のは、のみことばをして、ひたすらりにしました。ののにも、みことばをして、とでまってりました。３つ、すべてのとにやぐらをてましょう。13に、めてのでやぐらをてました。16で、がざされたとき、やぐらをつけしました。19では、ティラノがすると、ローマにくに、やぐらをてました。  やぐらをっているRemnantにるしみは、すべてであり、になります。キリストがサタンのすべてののろいとわざわい、のをでわらせてくださいました。ですから、Remnantは、をにればいのです。 |
|  | 、ただキリストのをってりでのをけますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.03.24.1部 |